

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-2-1	事業名	障がい児(者)に対する専門的な療育支援体制の拡充				
担当	保健福祉局保健福祉部障がい福祉課 就労・相談支援担当 成澤、平塚					211-2936	
全体計画							
事業内容	重症心身障がい児(者)、知的障がい児(者)、身体障がい児等の地域生活を支えるため、発達援助や医療的ケア等に関する、専門的な視点からの療育指導等を行うとともに、関係機関(福祉サービス事業者、福祉施設、教育機関等)に対して技術指導を行い、身近な地域での療育支援体制の構築を図る事業である。 療育支援に関する専門的な知識と経験のある相談支援事業所に委託し実施している。 事業費については、計画期間中の新事業所数に係る事業費のみ計画に計上する。(レベルアップ事業)		<年度別の事業内容>				
			障がい児等療育支援事業実施箇所を増やす 19年度 6カ所(1増) うちレベルアップ分1カ所 20年度 7カ所(1増) うちレベルアップ分2カ所 21年度 7カ所 うちレベルアップ分2カ所 22年度 8カ所 うちレベルアップ分3カ所 本事業の主旨は、障がいのある方を「身近な地域」で支えることであるため、増設に当たっては、障がい福祉圏域(市内4圏域)におけるバランスのよい配置を行っていく。				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(予算)				
	平成19年10月に、1カ所を増設した。 中央区・西区・手稲区圏域 2カ所 北区・東区圏域 2カ所(うちレベルアップ分1カ所) 白石区・厚別区圏域 1カ所 豊平区・清田区・南区圏域 1カ所 事業費28,867千円 うちレベルアップ分2,645千円		平成20年10月に、1カ所を増設する。レベルアップ分2カ所 障がい福祉圏域におけるバランスのよい配置を目指して、本年10月に白石区・厚別区圏域又は豊平区・清田区・南区圏域に設置することとしている。 事業費36,779千円 うちレベルアップ分8,487千円				
達成目標の状況							
項目		18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
障がい児等療育支援事業実施箇所数(累計)		5カ所	6カ所	7カ所	7カ所	8カ所	8カ所
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 「地域自立支援協議会」において、学識経験者や地域の障がい福祉の状況を熟知している相談支援事業所職員などにより、本事業を含めた相談支援の充実に向けた協議を行っている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力]相談支援に関する優れた人材や技術を本事業に活かしていくことが期待できる。 [情報協力]福祉関係団体が持つ情報誌などを活用した情報発信により、地域などでの障がいに対する理解が期待できる。 [その他の協力]福祉関係団体が持つネットワークなどを活かした事業展開が期待できる。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 本事業を含め相談支援の充実に向けて協議をしている「地域自立支援協議会」を公開で行い、傍聴者の意見を本事業等に反映させるよう努めている。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	3-2-1	事業名	障がい児(者)に対する専門的な療育支援体制の拡充				
評価(成果)		課題					
<p>障がいのある方やご家族の地域生活に貢献している事業であり、多くの市民から期待されている事業である。</p> <p>事業の主旨である「身近な地域」での支援を目標に、計画どおり事業所を設置し、体制の充実を図っている。</p> <p>しかし、障がい者(児)の地域移行の進展などに伴い、地域において、本事業の必要性が高まっているにもかかわらず、事業所数はまだ不足していることから、誰もが身近な地域で療育支援を受けられる体制には至っていない状況である。</p>		<p>事業所が少ない地域において、順次増設するとともに、連絡会議等の機会を活用して、事業所間のネットワークの構築を図り、より効率的な支援を図る必要がある。</p>					
今後の事業の予定・方向							
<p>身近な地域での療育支援体制が図られるよう、障がい福祉圏域におけるバランスのよい配置を目指して、当初計画どおり事業所を増設していく。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	2,492	9,966	9,966	14,576	37,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,492	9,966	9,966	14,576	37,000
予算	事業費	2,492	8,487	-	-	10,979	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
		一般財源	2,492	8,487			10,979
実績	事業費	2,645	-	-	-	2,645	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	2,645				2,645
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				30.1%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
<p>(全体) 予算措置等の関係で、20年度については10月からの増を予定している。</p> <p>[19年度]</p> <p>[20年度] 予算措置等の関係で、20年度については10月からの増を予定している。</p>							